

「らくらく突破 気象予報士かんたん合格テキスト  
 学科一般知識編」正誤表 初版 第2刷

書籍の内容に誤りのあったことを、本書をお買いあげいただいた読者の皆様および関係者の方々に謹んでお詫びいたします。

(2019年8月7日更新)

**P.69 上から3行目**

誤	増加割合
正	増加する割合

**P.71 下から2行目**

誤	質量 m
正	質量 m [kg]

**P.72 下から4行目**

誤	<p>質量 <math>m[\text{kg}]</math> は、水密度 <math>\rho_w[\text{kg}/\text{m}^3] \times</math> 体積 <math>V[\text{m}^3]</math> だから、</p> $m = \frac{4}{3} \pi r^3 \cdot \rho_w$ <p><math>\rho_w</math> : 水滴の密度 <math>10^3[\text{kg}/\text{m}^3]</math>、<math>m</math> : 雨滴の質量 <math>[\text{kg}]</math>、雨粒体積 : <math>\frac{4}{3} \pi r^3[\text{m}^3]</math> より、</p>
正	<p>質量 <math>m[\text{kg}]</math> は、水滴密度 (雨) <math>\rho_w[\text{kg}/\text{m}^3] \times</math> 水滴体積 (球とする) であり、</p> <p>水滴密度 <math>\rho_w : 10^3[\text{kg}/\text{m}^3]</math>、雨粒質量 : <math>[\text{kg}]</math>、雨粒体積 : <math>\frac{4}{3} \pi r^3[\text{m}^3]</math> より、</p> $\text{雨粒質量 } m = \frac{4}{3} \pi r^3 \cdot \rho_w$

**P.83 上から 9 行目の数式**

正しい式は以下の通りです。

正	$k_s = \frac{2\pi^5}{3} n \left( \frac{m^2 - 1}{m^2 + 2} \right)^2 \frac{d^6}{\lambda^4}$
---	---

**P.91 上から 2 行目**

誤	両辺の $\pi r^2$ を消去し、
正	両辺の $\pi r e^2$ を消去し、

**P.91 5 行目の式の分子部分**

誤	1.38 (1 - 0.3)
正	$(1.38 \times 10^3) \times (1 - 0.3)$

**P.99 上から 5 行目**

誤	大気層放射
正	大気層からの放射

**P.111 上から 13 行目**

誤	単位面積に与える力の積となります。
正	単位面積に与える力の和となります。

**P.113 上から 2 行目の式**

誤	(K は比例定数。温度 T は一定)
正	(K は比例定数で一定)

P.122 下から 6 行目の式 (分母、分子とも)

誤	Kmol
正	<b>kmol</b>

P.125 下から 8 行目

誤	圧縮では空気塊の
正	<b>膨張</b> では空気塊の

P.130 上から 9 行目の式 (分子側)

誤	$\frac{-5 \times 10^{-1} \text{Pa}}{10 \text{Pam}^{-1}}$
正	$\frac{-5 \text{Pa}}{10 \text{Pam}^{-1}}$

P.131 の式② (層厚の式 2)

誤	$\Delta z = -\frac{RT}{g} \times \ln \frac{P_1}{P_2}$
正	$\Delta z = -\frac{RT_m}{g} \times \ln \frac{P_1}{P_2}$

P.132 上から 2 行目の式 (分子側)

誤	$\frac{RTm}{g}$
正	$\frac{RT}{g}$

P.132 上から 11 行目の式 (分母側)

誤	$\frac{287\text{m}^2 \cdot \text{K}^{-1} \cdot \text{S}^{-2}}{10\text{s}^{-2}}$
正	$\frac{287\text{m}^2 \cdot \text{K}^{-1} \cdot \text{S}^{-2}}{10\text{ms}^{-2}}$

P.143 下から 5 行目

誤	特に水蒸量の増減が
正	特に水蒸気量の増減が

P.166 上から 1 行目

誤	$\frac{2\pi}{360\text{rad}}$
正	$\frac{2\pi\text{rad}}{360}$

P.167 下から 6 行目

誤	$1\text{hPa}/\text{km} = 100\text{Pa} = [\text{kg} \cdot \text{m}]$
正	$1\text{hPa}/\text{km} = 100\text{Pa} / 1000\text{m} = 100[\text{kg} \cdot \text{m}]$

P.168 上から 1 行目

誤	面 A に働く圧力
正	面 A に働く力

P.168 上から 3 行目

誤	面 B に働く圧力
正	面 B に働く力

P.179 上から 3 行目

誤	高気圧性、低気圧性とも 1 つの式でまとめると、
正	低気圧性循環と気圧傾度力をまとめると、

P.181 上から 9 行目

誤	あたかも図 7-11 のように
正	あたかも図 7-12 のように

P.181 上から 11 行目

誤	図 7-11 とは異なっています。
正	図 7-12 とは異なっています。

P.204 の③の式

誤	$\frac{\Delta v}{\Delta y} = - \frac{2V - 2V}{H} = - \frac{4V}{H}$
正	$\frac{\Delta v}{\Delta y} = \frac{-2V - 2V}{H} = - \frac{4V}{H}$

P.219 問 5 の解答 1 行目

誤	「地衡風速 V の式 (P 座標系)」
正	「地衡風速 V の式 (Z 座標系)」

**P.219 問 5 の解答 10 行目**

誤	「地衡風速 $V_g$ の式 (P 座標系)」
正	「地衡風速 $V_g$ の式 (Z 座標系)」

**P.224 上から 9 行目**

誤	温度差が無限に大きくなることを防いでいます。
正	温度差が <b>大きくなることを防いでいます。</b>

**P.240 上から 5 行目**

誤	エネルギーもちます
正	エネルギー <b>を</b> もちます

**P.241 下から 1 行目**

誤	下図のように両矢印上の地点における水平温度移流量を求めなさい。
正	<b>次図のように両矢印上の地点における水平温度移流量 <math>^{\circ}\text{C}/\text{h}</math> および移流の判断をせよ。</b>

**P.262 上から 2 行目**

誤	日本では起状が多い
正	日本では起 <b>伏</b> が多い

**P.275 下から 4 行目**

誤	絶対温度
正	絶対 <b>湿</b> 度

**P.297** 上から 9 行目

誤	一般場の運動エネルギー
正	一般 <b>風</b> の運動エネルギー

**P.365** 上から 9 行目

誤	$\frac{V}{M}$
正	$\frac{M}{V}$

技術評論社 書籍編集部